



病院だより

第7号

広報HP委員会

みよし市三好町八和田山

15

TEL 0561-33-3300

FAX 0561-33-3308

広報誌刊行のごあいさつ

残暑お見舞い申し上げます。今年は何年よりも梅雨明けが早くなつたため夏が長く、また、ゲリラ雷雨という言葉が定着するほど天候が不安定な日々が多くなりました。皆様、熱中症対策には気を使われたと思います。そろそろ夏の疲れが始める頃となりましたが、まだまだ暑い日が続くため体調管理には十分気をつけていただきたいと思ひます。今号は3病棟が主催で毎年行っている七夕と夏祭りの様子を紹介させていただきます。両日とも多くの方に参加いただき大変盛況でした。来年も行う予定ですので、今年ご参加いただいた方もそうでない方もお時間が許すようでしたら是非ご参加下さい。

以前、血管造影の機器が最新式に変わったこととお知らせしましたが、主に循環器科の心臓カテーテル検査および治療に使用しております。今号では実際に行っている心臓カテーテル検査及び治療について紹介させていただきます。

既に御存知の方もみえると思いますが、今年の4月1日付で内科に濱田広幸消化器科部長が新たに仲間入りしました。御本人から広報誌にコメントをいただきましたので併せて紹介させていただきます。

広報HP委員会 一同

7月七夕会

6月26日、午前10時30分より3階病棟エレベーター前にて、誕生会・七夕会が行われました。

7月の誕生日の方に誕生日カードを渡してその後病棟スタッフによるハンドベル演奏が行われました。曲目はハッピーバースデーと七夕の2曲で、患者さんたちの拍手もあり、盛り上がる事が出来ました。

七夕会では、事前に患者さんたちに短冊に願い事を書いて頂き、それを1つずつ発表していききました。発表したそれぞれの短冊を笹の葉にそれぞれ飾り、願いが叶うよう祈願しました。その後食堂に移動し、水ようかんをみなさんで味わいました。会が始まってから終わりまで、みなさん笑顔で会に参加され、とても充実した会となりました。今後も患者さんのために、楽しい会が企画できるようにしていきたいと考えています。



会が始まってから終わりまで、みなさん笑顔で会に参加され、とても充実した会となりました。今後も患者さんのために、楽しい会が企画できるようにしていきたいと考えています。

8月夏祭り

8月2日午後6時より、病院中庭にて夏祭りが行われました。各病棟の患者さんを始め外部からも多くの方がお見えになりました。また、かき氷や綿菓子、スイカ割りなどが行われ、とてもおいしそうに食べられていました。

イベントとしては、リハビリスタッフと患者が「365歩のマーチ」の曲にそって手拍子のポンポンを振りながら元気よく踊っていました。リハビリ課によるけん玉披露、外部より大正琴の演奏、いいじゃん踊り「踏華」による迫力のある踊りを披露して頂きました。



手拍子で楽しまれていたり、踊りでは途中でスタッフに参加したりなど終始盛りあがっていました。終了後は「楽しかった」と言ってくれました。みなさんにとつて、思い出に残る会になりました。

循環器内科

近年、数ある生活習慣病の中でも、「がん」「心疾患」「脳卒中」は日本人の死亡原因の約6割を占めており、その中でも心疾患は死亡原因の第2位となっています。心疾患の代表的なものは、狭心症と心筋梗塞です。狭心症とは、心臓の筋肉（心筋）を養っている冠動脈に十分に血液が流れない状態、心筋梗塞とは、冠動脈が完全につきまり心筋が壊死した状態をいいます。冠動脈の血管障害は、動脈硬化が原因となっていることが多いのです。動脈硬化は加齢によっても進みますが、過度のストレス、過食、運動不足、喫煙などの生活を予防することが大事です。主な症状として、「胸が痛い」、「胸が圧迫される」、「胸が締めつけられる」などの胸痛です。その他、冷や汗、胃痛、吐き気、喉の圧迫感、左肩の痛み、歯の痛みなどを訴える人もいます。

検査・治療として、心臓カテーテル検査や経皮的血管的冠動脈形成術があります。心臓カテーテル検査は、手首、肘、またはそけい部の血管から、心臓に特殊な細いプラスチックの管（カテーテル）を挿入し、造影剤を注入してX線撮影をし、心臓の血液状態や形、心室、心房と弁の動きを調べたりする検査です。また、心臓カテーテル検査の結果で、冠動脈の狭くなった部分や

つまっている部分は、風船つきの管で狭くなった部分まで押し進め、風船で膨らませて血管の内側から押し広げ拡張します。風船による治療で拡張が不十分な場合は、ステントという小さな網目状の金属の筒を血管の内側から押し広げ留置し、狭くなった部分を広げる治療をします。これが経皮的血管的冠動脈形成術と呼ばれています。

当院では、2003年より、毎週火曜日、第2・4の木曜日の午後、4名（1名非常勤）の医師、循環器スタッフ（看護師、放射線技師、検査技師）が担当し行っております。近年、心臓カテーテル検査は180、200件/年、経皮的血管的冠動脈形成術は80、90件/年、行っております。また、昨年の7月より新しい血管撮影装置も導入され、冠動脈をより鮮明に撮影することができるようになりました。このような検査、治療が円滑に行われるよう、最新の機器の導入とスタッフの充実をはかっております。

自覚症状がある方は早めに検査・治療を受けることが大事です。気になる症状がある方は、循環器内科までご相談ください。



新任のごあいさつ

今年四月にみよし市民病院に赴任となりました内科の濱田と申します。私は名古屋大学消化器内科に所属していて、今回、その医局人事でこちらに勤務することとなりました。大学院に在籍していた際には学位論文等、成瀬先生の指導を直接受けていました。柴田先生、伊藤先生、金曜日に消化器検査にみえている堀口先生、開業された中島先生も同じ研究室出身で、こちらで働くこととなり、初めてきた病院なのになにか懐かしい感じがしています。

みよし市民病院の職員の方々ほどの部署の方もとても親切でやさしく、患者さんの立場に立って、心のこもった医療を行っていて、このような素晴らしい病院で働くことができ、幸せに思っています。おかげさまで毎日楽しく仕事させて頂いています。地域の方々のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。



内科 濱田広幸